

講師紹介

野原すみれ氏 (がんばらない介護応援団長・高齢化社会をよくする虹の仲間 運営委員長)

- ・実母、義母の介護を15年間体験。
- ・1983年、自分たちの老後を考える「高齢化社会をよくする虹の仲間」を立ちあげ、以来運営委員長。
- ・1985年、国連婦人年最終年ナイロビ会議に横浜市代表団の一員として参加。
- ・東神奈川高齢者ショートステイセンター「若草」の施設長を7年務め、2006年退職。
- ・「身を粉にしてがんばる介護」を美德とした時代に「がんばらない介護」を日本で初めて提唱。「がんばらない」は流行語となって介護者の救いとなる。
- ・社会福祉法人「緑成会」特別参与、がんばらない介護応援団長として、介護者を支援する執筆活動、講演などを行う。
- ・著書多数、近著に「死ぬまで元気に自分流～がんばらない介護と3つの備え」(萌文社2010年9月)

細井雅生氏 (高崎経済大学地域政策学部教授)

- ・2006年「第15回全国ボランティアフェスティバルぐんま」シンポジウムのコーディネーター、2007年「高崎市地域福祉研究大会」パネルディスカッションのパネリストを務める。
- ・高崎市介護保険運営協議会会長、高崎市地域福祉計画策定アドバイザー等を歴任し、現在、はつらつ高崎21推進委員長、たかさき人権プラザ運営委員長、福祉サービス評価推進センターぐんま運営委員長、群馬県地域包括・在宅介護支援センター協議会平成22年度職員研修会講師等として活躍中。
- ・専門：社会福祉論・家族ソーシャルワーク論・地域福祉政策論・児童福祉論。
- ・研究内容：福祉的支援を要する児童、高齢者、障害者等をめぐる問題を家族ソーシャルワークという視点から考察。地域福祉分野の最近のテーマは福祉施設第三者評価と市民参画型の福祉計画づくり。

井上謙一氏

(NPO法人じゃんけんぼん理事長)

- ・高齢者・障害者が何らかのハンディを背負いながらも地域で住み続けることができ、安心して暮らせるコミュニティの構築をめざす。
- ・親子の絆を再確認し子どもが豊かな心を持ち、たくましく生きる為の体験教育を自然という環境下で実践する。
- ・上記の具体的な実践活動は次のとおり。
「認知症高齢者グループホーム事業」「認知症高齢者デイサービス事業」「小規模多機能型居宅介護事業」「地域で認知症の人を支える啓発活動」「居場所拠点づくり・地域助け合い移送活動」「赤城山こども自然体験活動」等。

田中秀行氏

(男性介護者サポートネットワーク

「かいご勝手連」代表)

- ・2009年3月、男性介護者をサポートしていく活動を創る呼び掛けを始める。同年10月より呼びかけに応えたスタッフ4人と共にボランティア活動グループを結成、活動開始。
- ・男性介護者のために介護に関する啓発活動を行い、共に歩むネットワークを展開。
- ・全国組織「男性介護ネット」設立時の呼びかけ人でもある。
- ・ネットワークづくりが地域の活性化や新たな故郷・ホームタウンづくりとなり、それらを通じ「生き方の見直し」を提言している。

申込方法

電話・FAX・メールで開催日の前日までに申し込みください。

受講希望日 氏名 住所

電話番号 ファックス番号

年齢(年代) 職業・所属等

をお伝えください。

*ご提供いただいた個人情報は、本講座に関する連絡と個人を特定しない統計資料のみに利用します。



問合せ・申込先 群馬県生涯学習センター

〒371-0801 前橋市文京町2-20-22 「課題解決支援講座」係

TEL 027-224-5700 FAX 027-221-5000

Eメール: nakajima-tu@pref.gunma.jp

今すぐケータイでお申込を!



平成22年度 課題解決支援講座 (男女共同参画編) 申込用紙

| | | | | |
|----|----------|--------|---|------|
| 氏名 | 受講希望日 | 11/27 | ・ | 12/4 |
| 住所 | 職業・所属団体等 | | | |
| 電話 | FAX | 年齢(年代) | | |

上記の個人情報は、本事業に関する連絡と個人を特定しない統計資料のみに使用します。